

○信越総合通信局長表彰 「電波の日」 (2団体、1個人)

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
株式会社エヌ・シー・ティ (代表取締役社長 今泉 道雄)	信越管内で初となる高度化方式による地域BWAシステムを整備し、電波の有効活用による住民の利便性向上と地域の防災力強化に多大な貢献をされました。
信越放送株式会社 (代表取締役社長 渡辺 雅義)	長野県におけるAMラジオ放送難聴地域の解消を図るため、FM補完局及び補完中継局を整備し、ラジオ放送の受信環境の改善と電波利用の普及発展に寄与されました。
佐々木 重信 (国立大学法人新潟大学自然科学系 (工学部) 教授)	信越情報通信懇談会電波利用委員会委員長や周波数有効利用技術に関する調査検討会座長として、永年にわたり地域における無線通信技術の普及発展に尽力されました。

「情報通信月間」 (3団体、1個人)

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
株式会社BSNアイネット (代表取締役社長 梅津 雅之)	地方公共団体地域情報化推進フェアをはじめとする情報通信関連行事を永年にわたり開催するなど、地域の情報化の推進に多大な貢献をされました。
須高ケーブルテレビ株式会社 (代表取締役社長 丸山 康照)	スラックラインワールドカップ日本大会を4K生中継したほか、長野ICT・4Kフォーラムの開催に尽力するなど、ICTによる地方創生に多大な貢献をされました。
伊那市 (市長 白鳥 孝)	少子高齢化や人口問題等に起因する課題解決のため、スマート農業、ドローン活用やICT教育などに取り組み、情報通信を活用した地域の活性化に寄与されました。
宮澤 英文 (上越ケーブルビジョン株式会社 取締役会長)	日本ケーブルテレビ連盟信越支部長として、4K放送の普及促進や臨時災害放送局の開設支援協定締結を推進するなど、放送事業の普及発展に多大な貢献をされました。

○信越総合通信局長感謝状 (3団体)

(敬称略)

受賞者名	事績の概要
公益社団法人日本海海難防止協会 (代表理事長 難波 秀憲)	小型船舶への簡易型AIS普及に係る助成事業を行うなど、日本海沿岸水域における小型船舶の航行安全に寄与されました。
長野電気通信産業株式会社 (代表取締役社長 倉島 隆)	テレビが視聴し難い地域の共同受信施設設置など電気通信設備等の整備保守を永年にわたり行い、長野県内の情報通信利用環境の改善に尽力されました。
特定非営利活動法人グループHIY OKO (代表理事 吉國 明夫)	インターネットを通して高齢者・障がい者等の仲間づくりを促進したほか、情報通信月間におけるセミナーの開催など、地域の情報化の普及啓発に寄与されました。